

情報公開文書

西暦 2024 年 5 月 13 日作成

Ver. 1

大腿骨近位部骨折のため当院入院しリハビリテーションを実施した患者の特徴

1. 研究の目的と意義

大腿骨近位部骨折のために当院へ入院された患者さんの年齢・体格・身体機能(筋力など)・基本動作能力(座る・立つ・歩くなど)とそれらがリハビリテーションの進み具合や退院先に及ぼす影響を調査してまいります。

2. 対象となる患者さんと研究方法

大腿骨近位部骨折で当院にて手術し、2022 年 4 月 1 日から 2024 年 4 月 30 日までの期間に当院を退院された患者さん

3. 研究に用いる、試料・情報の利用目的及び利用方法

カルテより年齢、性別、現病歴、既往歴、合併疾患、入退院日、入院前及び退院時の日常生活レベル、退院先(自宅退院、回復期、療養病院、介護保険施設など)、リハビリテーションに関する項目(リハビリテーションの実施内容、リハビリテーション実施日数など)、検査・治療データ(血液データなど)などの情報を利用します。

4. 研究期間

臨床研究倫理審査承認後から 2026 年 3 月末日

5. 利用する者の範囲

東京都済生会中央病院・リハビリテーション技術科 片倉哲也、秋葉周、天野めい、沓間千夏、水谷純子

6. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東京都済生会中央病院・リハビリテーション技術科 片倉哲也

7. 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止する旨

利用する情報からは、お名前、ご住所など、患者さんを直接同定できる個人情報には削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は以下の 8.にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

8. 7. の研究対象者等の求めを受け付ける方法

東京都済生会中央病院・リハビリテーション技術科

東京都港区三田 1-4-17 電話 03-3451-8211(内線 3920)

受付時間：平日 9:00~17:00、土曜 9:00~12:30 担当 片倉哲也